

平成31年度全国学力・学習状況調査より

～ 児童生徒の学力や学習習慣・生活習慣等に関する

結果の分析と改善に向けた今後の取組について ～

福島市教育委員会

1. はじめに

福島市教育委員会では、平成31年度全国学力・学習状況調査を市教育施策に係る検証と改善に役立たせるとともに、その結果と改善策について広く市民の皆様へお伝えし、保護者や地域の方々との御理解と御協力を得ながら、学力の向上を一層図っていきたくと考えております。そこで、本市全体の教科の平均正答率とともに、児童生徒の学力や学習習慣・生活習慣に関する課題や改善に向けた今後の取組をまとめましたので、御覧いただければ幸いです。

なお、本市では各校の学力調査の数値結果等について、序列化や過度の競争につながるおそれがあることから、個々の学校名を明らかにした公表は行っておりません。

2. 調査の概要

(1) 調査日時 平成31年4月18日(木)

(2) 調査対象

市立小学校48校の第6学年の全児童、市立中学校20校の第3学年の全生徒

(3) 調査内容

- 小学6年 国語, 算数
- 中学3年 国語, 数学, 英語
- 生活習慣や学習環境等の質問紙調査

3. 教科に関する調査の結果(平均正答率)

(1) 小学6年

	福島市	福島県	全国(公立)
国語	63	64	63.8
算数	65	65	66.6

(2) 中学3年

	福島市	福島県	全国(公立)
国語	72	72	72.8
数学	59	57	59.8
英語	54	53	56.0

4. 全国の結果から分かる本市の特徴(○全国を上回っている主な内容 ▲課題となる主な内容)

(1) 小学6年

国語	○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと。 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること。 ▲目的や意図に応じて、自分の考えを書くこと。 ▲文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。
算数	○図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成すること。 ○単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること。 ▲複数の情報から、必要な情報を選び立式すること。 ▲資料の特徴や傾向を関連づけて判断し、その理由を記述すること。

(2) 中学3年

国語	○伝えたい事柄について、自分の考えや気持ちを書くこと。 ○論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること。 ▲文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明らかにして自分の考えを持つこと。 ▲文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。
数学	○簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 ○図形の性質が成り立つための前提を考え、説明すること。 ▲四則計算の結果について、数の集合と関連づけて理解すること。 ▲与えられた情報を読み取り、事象に即して理解し活用すること。
英語	○情報を正確に聞き取り、話の内容を聞いて理解すること。 ○英語の文章を読んで、内容を理解すること。 ▲聞いた内容について適切に応じ、与えられたテーマについて考えを整理して文章を書くこと。 ▲適切に接続詞を用いること。

福島市の子どもたちの学力を一層伸ばすために

中学校3年国語

育っている力

- ① 短歌等に表現されているものの見方や考え方について、自分はどう思うかなどの感じたことや考えを具体的に書く力が付いています。
- ② 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する力が身に付いています。
- ③ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを書く力が身に付いています。

育てたい力と手立て

- ① **文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明らかにして自分の考えをまとめる力**
→ 文章内容を的確に捉えることや、表現の仕方を分析的に捉え、作者の意図を考える学習を大切にしていきます。
- ② **文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力**
→ 文章の内容や構造を理解することや、文章の特徴を把握しながら、目的や必要に応じて情報を過不足なく選択し整理する学習を大切にしていきます。

中学校3年数学

育っている力

- ① 連立二元一次方程式に関する基本的な計算の知識・技能が身に付いています。
- ② 三角形の合同条件や反例（成り立たない場合）の意味を理解するとともに、証明を振り返って発展的に考え、新たな性質を見出し、説明する力が身に付いています。
- ③ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力が身に付いています。

育てたい力と手立て

- ① **四則計算の結果について、数の集合と関連付けて考える力**
→ 計算の条件を変えて成り立つ事柄を考え、四則計算の結果を自然数や整数などの数の集合と関連付けて考察する学習を大切にしていきます。
- ② **与えられた情報を読み取り、それを事象に即して理解し活用する力**
→ 日常生活の中で数学を使って考える場面で、与えられたグラフや表から必要な情報を読み取ったり、数学的に考えたことを日常生活に関連付けて捉えたりする学習を大切にしていきます。

中学校3年英語

育っている力

- ① 英語で話を聞いて、概要を聞き取ったり、必要な情報を理解したりする力が身に付いています。
- ② 英語の文章を読んで話のあらすじを理解したり、必要な情報を読み取ったりする力が身に付いています。
- ③ 日常的な話題について、簡単な語句の意味や、文の内容を正確に読み取る力が身に付いています。

育てたい力と手立て

- ① **自分の考えや意見を表現する力**
→ 英語で聞いたり読んだりした後で、自分の考えや意見を話したり書いたりする言語活動を、授業で計画的に取り入れていきます。
- ② **英文の中で適切に接続詞を選択する力**
→ 文章を論理的に捉えることや、語と語、文と文のつながりに注意して、正しく文を書く学習を大切にしていきます。

生徒質問紙調査の結果から (全国と比較して)

福島市の生徒の良い点

○ 将来の夢や目標を持っている

「将来の夢や希望を持っている」、「どちらかと言えば持っている」と回答した生徒の合計割合は73.5%と、全国平均を上回っています。

キャリア教育の充実を図り、福島市の生徒たちが夢や希望を持ち続けられるように、今後も支援していきます。

福島市の生徒の課題

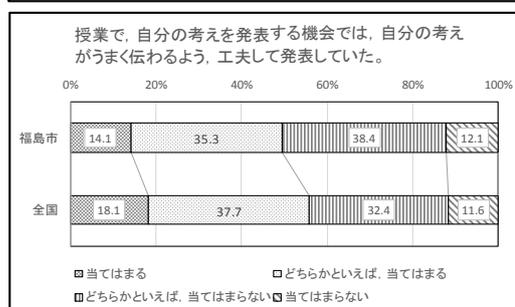
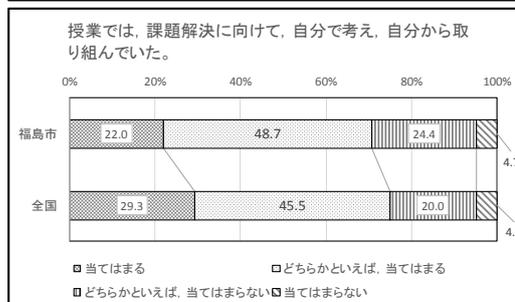
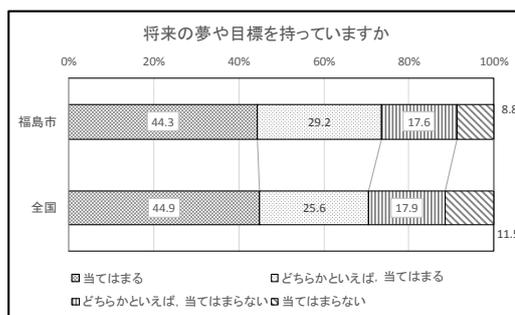
○ 課題解決に自分から取り組む

「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「どちらかといえば取り組んでいた」と回答した生徒の合計割合は70.7%と、全国平均を4.1ポイント下回っています。

○ 自分の考えを工夫して発表する

「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していた」、「どちらかといえば発表していた」と回答した生徒の合計割合は49.4%と、全国平均を6.4ポイント下回っています。

生徒が主体的に課題解決に取り組み、自分の考えを自信をもって発表できるような授業を展開できるように、今後も授業改善に努めていきます。



福島市教育委員会の学力向上への取組

○ 日々の授業の充実に向けて

年間を通して各種教員研修を行うとともに、学校訪問や授業研究会を通してよりよい授業の実現に向けて助言し、個々の教員の指導力向上を図ります。

また、生徒一人ひとりにきめ細かな学習支援を行うために、数学科の学習支援員を増員し複数の中学校に配置することや、英語科の外国語指導助手を増員するなどして、学力向上を図ります。

○ 家庭学習の充実に向けて

本市の生徒はしっかりと家庭学習に取り組むことができます。市では家庭学習の質的な向上を図るため「家庭学習のスタンダード（福島市版）」を作成し、各校での活用を奨励しています。今後も「学校での学習」→「家庭での復習・予習」→「学校での学習」というサイクルを確立することで学習内容の確実な定着を図っていきます。

保護者の皆様へ

学力向上の第一義的な責任は学校にあります。学力の定着と学習習慣の確立のためには、家庭との連携が極めて重要であると捉えています。お子さんの学力をさらに向上させるために、以下の点について御協力をお願いいたします。

- ・ 帰宅後の時間の使い方や、休日の過ごし方、ゲームやスマートフォン等についての約束事など、望ましい生活習慣の確立が学力向上には不可欠です。
- ・ 時間を上手に使い、「いつもの時間に、いつもの場所で」落ち着いて学習できる環境を整えることが大切です。
- ・ 今後も、お子さんの頑張りを大いに褒めてあげてください。御家族の温かい言葉や励ましが新たな学習意欲へとつながっていきます。